

雅世集

蛩

夏ふかきつき草がくれゆく水の

みさびももえてとぶ蛩かな

水辺蛩

ながれえぬ野沢の水の草がくれ

ほたるばかりや行くと見ゆらむ

江蛩

難波江や秋まつあしの末葉より

ほのかに見えてとぶ蛩かな

蛍

あま人のあつめぬわざもつしまどに
浪のよるとや蛍飛ぶらむ

池蛍

池水のみくさかたよる浪の上に
たえだえ見えてとぶ蛍かな

蛍似露

秋近き露とこそ見れ難波江に
蘆の葉のぼる夜半の蛍を

湖蛍

さざ波や八十の湊のいさり火も
それかと見えてゆく蛍かな